

## 被 害 防 除 計 画 書

## 1 土砂の流出、崩壊等による隣接地への影響（該当に○）

(注) 隣接地には農地以外も含む

①造成の有無（有・無） 無の場合の理由 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

## ②造成の方法（以下①で有の場合のみ記入）

ア 盛土を行う（盛土高 約 1m） \*数値については概算値を記入（以下同じ）  
 イ 切土を行う（切土高 約 m）

## ③法面に対する措置

ア擁壁を設置（高さ 約 m）擁壁の形式（a ブロック積 b 重力式 c その他（\_\_\_\_\_））  
 イ 法面の保護を行う（a 芝張り b 土留め c 植生 d その他（\_\_\_\_\_））  
 ウ その他 \_\_\_\_\_

## 2 近傍農地の日照、通風等周辺農地の営農条件への影響（該当に○）

ア 有

→ [被害防除措置] a 緑地、緩衝地を設ける  
 b 建物の高さを加減する  
 c その他 \_\_\_\_\_

イ 無

→ [その理由] a 建物の建設を行わない  
 b その他 \_\_\_\_\_

## 3 農業用排水施設、農道、ため池等の機能に及ぼす影響（該当に○）

ア 有

→ [被害防除措置] a 当該施設を使用するが、施設管理者と協議が整っている  
 b その他 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

イ 無

→ [その理由] a 当該施設はない（又は使用しない）  
 b その他 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

(記載注意)

1. 枝間も含め該当欄に○、その他については、具体的な内容を簡潔に記入すること。
2. 土地利用計画図等において、措置を行う位置等を明示すること。